

第4回 中学校給食推進会議検討部会 会議録

開催日時 平成26年5月19日(月)
13:05~13:50

場 所 明治安田生命川崎ビル13階 会議室

出席者 総務:(代)森担当係長
総企:宮崎担当課長、対馬担当課長、田中課長補佐、亀村担当係長
財政:白鳥課長、小沢担当係長
経済:(代)澤田担当係長
健福:馬場課長
まち:(代)石川担当係長
教育:小椋庶務課長、佐藤課庶務係長、野本企画課長、山井企画課担当係長
中学校給食推進室:望月室長、森担当課長、北村担当課長
二瓶担当係長、細見担当係長、新田主任、谷口主任、葛山職員
※(代)は代理出席

内 容 (進行 中学校給食推進室)

— 部会長挨拶 —

— 資料説明—

(主な質疑等)

委 員 川崎市立中学校完全給食実施方針(素案)中間とりまとめ(たたき台案)の中で、2(2)中学校完全給食の喫食形態で、全員喫食を「原則」としたことについては。

事務局 アレルギー対応など例外的なケースを想定している。アレルギー対応では、調理室内に特別な部屋を設置したとしても、すべてのアレルギーへの対応は困難なものと考えている。

委 員 2(5)ア中学校完全給食の実施手法については。

事務局 自校調理場は引き続き検討していくとともに、共同調理場又は民間調理施設を整備する場合においても、実施手法ごとに可能性の調査を実施し、バリューフォーマネーを計算していきたい。

委 員 2(5)イ民間活力を活かした効率的な手法のPFIについては。

事務局 センター方式の場合と仮定した場合にPFIが有効かどうかについても、実施手法と並行して検討していくということ。

事務局 今後のスケジュールについて、5月20日に開催される中学校給食推進会議及び教育委員会臨時会において、「川崎市立中学校完全給食実施方針(素案)中間とりまとめ(たたき台案)」をお示しする。

委員 2(6) 中学校完全給食の導入時期について、「整備の進捗状況や学校運営の状況」とあるが、平成28年度中の導入にこだわらず、今後も検討するということか。

事務局 工事の進捗や学校との調整はあるが、平成28年度中の中学校完全給食の導入を目指していくことは変わらない。また、試行実施についても可能であれば取り組んでいく。

委員 2(4) 中学校完全給食の食器の形態等について、食器の種類によっては洗浄機等の機器に大きく影響すると聞いている。費用的にどうなのか。

事務局 費用の面というよりも、「食育」の観点から、セパレートタイプを基本としたい。

委員 セパレート型の食器は全国的には標準タイプか。

事務局 現在、実施されている自校調理方式や共同調理場方式において、セパレート型の食器は全国的にも導入事例が多い。最近デリバリー給食を導入した自治体では弁当箱を使用している例はある。食器の種類・材質などについては、今後検討していく。

委員 食器の種類によっては、コストを抑えることもできるのではないか。

事務局 食器の種類を標準的なタイプのセパレート型とすることで「食育」を推進する考えである。ランチプレートでは、参考写真にあるようにパンがはみ出ることもある。

事務局 子どもが配膳する場合、和食では「食器を手を持って食べる」よう指導されるが、ランチプレートでは持つことができない。また、配膳時には、セパレート型のように個々の食器にそれぞれ給食を盛り付ける方がまとめて配膳できるため、時間を短縮できる。

委員 セパレート型の食器が望ましいということだが、コストも含めて検討を。

—その他の質疑等なし—

—閉会挨拶—

13時50分終了